

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年4月14日(2011.4.14)

【公表番号】特表2010-541319(P2010-541319A)

【公表日】平成22年12月24日(2010.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-051

【出願番号】特願2010-525780(P2010-525780)

【国際特許分類】

H 04 W 72/04 (2009.01)

H 04 J 11/00 (2006.01)

【F I】

H 04 Q 7/00 5 5 1

H 04 Q 7/00 5 4 8

H 04 J 11/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月28日(2011.2.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

基地局から制御チャネル伝送リソースを使って送信される、制御チャネル要素CCE₁-CCE_nを備えている共用制御チャネルにより遭遇する干渉をランダム化する方法であって、前記方法は、

前記制御チャネル要素CCE₁-CCE_nを第1の順序の制御チャネルのシンボルグループにグループ化する(601)工程と、

前記制御チャネル伝送リソースの利用可能なシンボルグループの位置の数を決定する(602)工程と、

前記第1の順序の制御チャネルのシンボルグループが実質的に前記利用可能なシンボルグループの位置の数に等しいように、前記第1の順序の制御チャネルのシンボルグループに“ダミー”値またはゼロを有するシンボルグループを付加する(603)工程と、

前記第1の順序の制御チャネルのシンボルグループをインタリーブし(604)、結果として、第2の順序の制御チャネルのシンボルグループを得る工程と、

前記第2の順序の制御チャネルのシンボルグループを循環シフトさせる(605)工程と、

前記循環シフトされた第2の順序の制御チャネルのシンボルグループを前記制御チャネル伝送リソースのシンボルグループの位置にマッピングする(606)工程とを有することを特徴とする方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項17

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項17】

制御チャネル伝送リソースを使って送信される、制御チャネル要素CCE₁-CCE_nを備えた共用制御チャネルにより遭遇する干渉をランダム化するよう構成される無線基地局であって、前記共用制御チャネルは、前記基地局から送信されるものであり、前記基

地局は、

前記制御チャネル要素 CCE₁ - CCE_n を第 1 の順序の制御チャネルのシンボルグループにグループ化する手段（151）と、

前記制御チャネル伝送リソースの利用可能なシンボルグループ位置の数を決定する手段（152）と、

前記第 1 の順序のシンボルグループが実質的に前記利用可能なシンボルグループ位置の数に等しいように、前記第 1 の順序の制御チャネルのシンボルグループに“ダミー”値またはゼロを有するシンボルグループを付加する手段（153）と、

前記第 1 の順序の制御チャネルのシンボルグループをインタリーブし、結果として、第 2 の順序の制御チャネルのシンボルグループを得る手段（154）と、

前記第 2 の順序を循環シフトする手段（155）と、

前記循環シフトされた第 2 の順序の制御チャネルのシンボルグループを前記制御チャネル伝送リソースのシンボルグループの位置にマッピングする手段（156）とを有することを特徴とする無線基地局。